

「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」について

大和証券グループとジャパン・フォー・サステナビリティでは、大学の枠を超えた多くの仲間と学びあう、学生向けの連続講座「サステナビリティ・カレッジ」を2006年10月に開講しました。次代を担う日本の若い世代の意識啓発や行動を促し、社会全体のサステナビリティを高めることを目的としています。

毎月行われる講義では、大学教授、研究者、企業経営者、実務家、NGO／NPO、行政担当者など、各分野の先端で活躍する方を講師に招き、サステナビリティに関連する多岐にわたる事象を、わかりやすく伝え、共に学び合う場を提供しています。

毎年ゆるやかな年間テーマを定め、各々の講座は独立しながらも互いに有機的に関連し合い、4年間でサステナビリティの全体像をとらえられるプログラムとなっています。

1年目：容量・資源とサステナビリティ（2006年10月～2007年9月）
人間社会の営みはすべて、地球の限られた資源・容量の中で行われることを認識し、「もったいない」という考え方で地球規模の問題をとらえます。
2年目：世代間・地域間の公平性とサステナビリティ（2007年10月～2008年9月）
私たちは、過去の世代の遺産を受け継ぎつつ、将来世代に受け渡していかなければなりません。国際間、地域間で、富や資源は公平に分配されているのでしょうか。だれもが搾取されることのない社会づくりを学びます。
3年目：多様性とサステナビリティ（2008年10月～2009年9月）
野生動物の生命の尊さや、人と人との間にある、人種や文化など、さまざまな多様性を価値として尊重することを学びます。
4年目：意志・つながりとサステナビリティ（2009年10月～2010年9月）
よりよい社会を築くには、一人ひとりが思いを持って、他者とつながっていくことが必要です。豊かなつながりを生み出す、柔軟で開かれた対話のあり方、社会参加の意味とノウハウを学びます。

本誌は、このうち2年目12回の講義録をまとめたものです。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://japanfs.org/sc>

目次

「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」について …… 2

第1回：公正・公平な社会づくりと環境倫理 …… 6

鬼頭秀一氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

第2回：地域の力を引き出し都市とつなげる …… 11

曾根原久司氏（NPO えがおつなげて代表理事、山梨大学客員准教授）

第3回：豊かな生態系を次世代に残す意味 …… 16

森山まり子氏（日本熊森協会会長）

第4回：食と農を通して考える日本と世界 …… 20

藤田和芳氏（大地を守る会会長、株式会社大地を守る会代表取締役）

第5回：貧困を生まない貿易——フェアトレードを広めるために …… 24

北澤肯氏（フェアトレード・リソースセンター代表）

第6回：地域を潤す地域のお金 …… 28

木村真樹氏（コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

第7回：地域のファスト風土化とサステナビリティ …… 32

三浦展氏（カルチャースタディーズ研究所代表）

第8回：貧困とサステナビリティ——日本の格差問題とは？ …… 36

湯浅誠氏（NPO「自立生活サポートセンター・もやい」事務局長）

第9回：先進国で起きる『飢餓問題』の構造 …… 40

チャールズ・マクジルトン氏（セカンドハーベストジャパン理事長）

第10回：『ここ』から行動を始めるために

——ソーシャルキャピタルを生かして『負の遺産』を乗り越える …… 44

吉本哲郎氏（地元学ネットワーク主宰、水俣病資料館企画アドバイザー）

第11回：半農半Xがひらく地域と人の豊かな関係 …… 50

塩見直紀氏（半農半X研究所代表）

第12回：若い力で地域の課題に取り組む …… 54

広石拓司氏（株式会社エンパブリック代表取締役、NPO 法人 ETIC. シニア・フェロー）

* 本冊子中の内容、講師プロフィールは、原則として講義日時点のものです。